

6月議会 これでもいいのか碧南市

パートシップ制度 学校給食・18歳までの医療費の完全無料化

やらない

	学校給食無償化	18歳まで医療費完全無料化	パートナシップ制度
碧南市	×	×	×
刈谷市	○	×	○
安城市	○	×	○
豊田市	×	○	○
みよし市	×	○	○
知立市	×	×	○
高浜市	×	×	○
岡崎市	○	×	○
西尾市	×	×	○
幸田町	×	○	○

「費用対効果」企業論理では少子化対策ムリ
全国で生まれた子どもが、80万人を切る深刻な事態に、国も対策を取らざるを得なくなっています。
碧南市のねぎた市長は「費用対効果」「コスト削減」の企業論理を振りかざして4期15年市政を進めてきました。《表》のように、学校給食無償化、18歳までの医療費完

各地で前進！子育て支援
6月議会で、西三河各自治体で子育て施策が前進しています。
学校給食無償化
安城市 9月から恒常的に無償化
刈谷市 6月20日から2学期まで無償化
碧南市は岡本守正議員の一般質問にやらないと答弁。
18歳まで医療費完全無償化
豊田市 2024年4月から実施予定
みよし市 2024年4月から実施予定
幸田町 今年1月から実施中
碧南市は、岡本守正議員の一般質問にやらないと答弁。

第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略より2021.3月

順位	自治体	合計特殊出生率 2013-2017	2018年	2021年	2025年 目標
1	碧南市	1.57	1.53	1.44	1.65
2	西尾市	1.58			
3	豊田市	1.65			
4	高浜市	1.66			
5	岡崎市	1.66			
6	知立市	1.72			
7	安城市	1.75			
8	幸田町	1.76			
9	みよし市	1.8			
10	刈谷市	1.8			



市政の流れを変えましょう

いつでもドッグペの碧南市
平和首長会議への参加、非核自治体宣言、ゼロカーボンシティ、など主要な、全国的な施策は、西三河ドッグペかドベ2、未実施と続きます。
閉そく感でいっぱい
ふるさと応援寄付金は、年間30億円を超えているのに、市民には全く実感はありません。くるくるバスも、イスなし、拡充なし、電気バスや低床バスなど
全無償化、パートナシップ制度の導入の3施策を比較しても、西三河10自治体で、すべて実施していないのは碧南市だけです。
パートナシップ制度 未実施は碧南市のみ
SDGS（持続可能な開発目標）は言葉だけ掲げるものの、その中のジェンダー平等、多様な生き方を認め差別や不平等をなくす施策であるパートナリー・ファミリーシップ制度はやらないと、山口はるみ議員の一般質問に答弁しました。

他市で導入済みのものさえやられていません。統一協会との根深い関係、密着状態も合わせて、市民は閉そく感でいっぱいです。
市長車「ミライ」は、この一番
最新型の水素燃料車「ミライ」は近隣市の中でこの一番に、市長車、議長車の2台をリースで導入しました。
合計特殊出生率は最低に
こうした市長のもと、合計特殊出生率は10自治体市で最低になっています。
2025年度目標1.65を掲げたものの、2021年では1.44です。
他市に遅れて、学校給食費や18歳までの医療費完全無償化を、棚上げにしている場合ではありません。
そうそうに実施していただくよう、市民のみなさんと運動を広げましょう。
来年の市長選挙では、5期目の無投票を阻止。碧南市政の流れを変えましょう。

7月2日 刈谷市議会選挙投票開票 日本共産党3候補へのご支援を

8名はみだしの大激戦

刈谷市議選（定数28）が、7月2日投票となります。日本共産党は8期目をめざす山本シモ子候補（69）、2期目をめざす牛田清博 候補（64）、議席奪還めざす、にいむら健治 候補（68）が3議席回復をめざします。

総選挙の前哨戦として自民、公明、維新、参政党、企業系など36人が立候補し8名はみだしの多数激戦となっています。

国の悪法推進に地方から審判を

市議選では岸田政権の大軍拡・大増税ノリ、大企業支援・大型開発優先から暮らし・福祉優先の市政にするかが問われています。軍事費拡大、敵基地攻撃能力、武器産業支援で武器の輸出拡大など危険な戦争への国の動きに合わせるかのように、国防軍をつくるなどとかざす「日本第一党」など超右翼の立候補もあります。

豊かな財政を市民のくらしに

市の財政健全度は全国1位（東洋新報社2020年財政健全度ランキング）なのに、ためこみ金（基金）は総額200億円を超え、お城建設やトヨタのための駅前開発に熱心で、福祉・教育施策は立ち遅れています。

お城よりも学校給食無償化ずーと

党市議団が実施した市民アンケートでは「学校給食を無料に」が62%、「水道料の免除を継続」78%など、「物価高で大変。お城よりくらしを」の切実な市民の声が寄せられています。

実績抜群 日本共産党

党市議団は、市民と力をあわせ、小中学校の教室・体育館にエアコン設置、巡回バスの充実、特別支援学校の建設、祝日の保育園・学童保育実施パートナーシップ宣言制度などを実現しました。党3予定候補は、小中学校・幼児園・保育園の給食無料、18歳までの医療費無料化、75歳以上の

医療費無料、学校トイレに生理用品の設置などの公約を掲げ、「岸田政権の悪政の防波堤となるよう、福祉・暮らし第一の市政に」と訴えています。

お知り合いに
御支持をお広げください



にいむら健治 (元)



牛田 清博 (現)



山本シモ子 (現)



<http://hekinan.jcpweb.net/>
日本共産党碧南市会議員団のホームページをご覧ください。

日本共産党碧南市委員会



市議会議員
山口はるみ
☎42-8940
三度山町 2-70-4



市議会議員
岡本守正
☎41-5357
笹山町 6-29



市民運動部長
磯貝明彦
☎48-2718
若松町 3-253

大軍拡・大増税許すな
へきなん 19行動
7月19日（水曜日）
午前11時～12時
東浦町6-17 ピアゴ碧南東店
（日進小学校）

高等教育の無償化へ

ただちに学費・奨学金返済を半分に
計画的に無償化をすすめます



財源 1+2=2兆円(年) 大企業・富裕層に応分の負担
3=5兆円 国債発行+特別会計(明徴法)の軍事費流用中止
(一回限り)

